

会長の時間 ● 富田会長

本日は恒例の親睦委員会による観月例会となっています。また、皆木会員の歓迎会を兼ねた例会となっていますが、池田委員長を始め親睦委員会の皆様には素晴らしい企画を用意して頂き、感謝申し上げます。

龍野クラブが、姫路の街を一望できる素晴らしいロケーションのセトレハイランドヴィラ姫路を観月例会の会場として使わせて頂くのは3回目ですが、遠路はるばる多数の会員の皆様に参加頂き御礼申し上げますと共に、本日はロータリーの親睦と会員相互の「つながり」を深めて頂きたいと存じます。

ロータリーの「親睦」は、英語の“FELLOWSHIP”の訳とされていますが、英語と和訳では少し意味が異なり、原語には、「連帯感」や「協調」に近い意味があります。

浅井初代会長の「親睦こそ我がクラブ」というモットーはクラブの皆様にとって余りにも有名ですが、ロータリー思想の原点は、1910年のポール・ハリスの「親睦と奉仕の調和」にあるとされています。ロータリアンにとって、親睦は、目的であると同時に奉仕の原動力でもあります。即ち、親睦と奉仕は別個のものではなく、親睦の中に奉仕の要素があり、親睦のエネルギーが奉仕を生み、その奉仕が広く拡大していくというのがロータリー運動であるとされています。

地区の田中毅 PG は、「ロータリーの親睦とは、ロータリークラブがクラブとして存続していく上で欠かすことのできない必要条件となる、ロータリアン個人個人が結合した状態を表す概念です。換言すれば、FELLOWSHIP はロータリーの引力でもあります」と述べられた上で、親睦と親睦活動とは峻別されるべきと唱えられ、単に宴会のような親睦活動は親睦というロータリーの本来の運動を高める補助的な活動とされました。

田中 PG は、また、親睦について、親睦を高める最適の場所は、毎週1回の定例の例会であるべきで、例会に於いて、如何に友情を深めるかを考え実行することと、いかにして真の親睦が保たれるような環境を整備することが最大の任務と唱えられました。そして、友情溢れる例会を通じて、ロータリアンがお互いに切磋琢磨し、自己改善に努めることで、ロータリーの説く親睦が一層深まり、奉仕の心が高まると述べられていますが、その意味では、本日は、例会としての観月会であり、親睦の為の絶好の機会だと思います。

アリストテレスは倫理学の原点と称される著「ニコマコス倫理学」の中で「徳を積むことが人間同士の絆を深めることにつながるし、また、逆に、他者との豊かな相互関係が、個人が徳という力を身に付けていくための助けになる」と云う言葉を残していますが、本日の親睦の参考になればと思います。

本日は、新会員歓迎会を兼ねた観月会ですが、最後に、会員とりわけ新会員の皆様には美しい月とお料理を愛でながら、ロータリーの親睦を理解して頂き、今日のこの機会を活用して親睦を深め、そして、ロータリアンとして成長され、奉仕につながることをご期待致します。